

■【トピックス】

株価2万円！



一時、日経平均株価が2万円の大台を回復しました。しかし、日本の上場企業のROE（株主資本利益率）は、海外の証券取引所に上場している企業に比べて著しく低いものです。それでも株価が上がっていることに危うさを感じます。

真の実力により株価が上昇しているなら問題はありませんが、日銀や年金資金による買い支えなら、これ以上危ういことはありません。一時の指数に踊らされないことが肝要かもしれませんね。

■【今月のキーワード】

コーポレートガバナンス・コード原案

コーポレートガバナンス・コード原案は、「日本再興戦略」改訂2014（平成26年6月24日閣議決定）に基づき、東京証券取引所と金融庁が事務局となって、有識者会議を9回開催して決定されました。

その目的は、海外に比べて低いROE（株主資本利益率）の改善を目指して、日本企業の慎重姿勢を打破して、国際競争力を高めることです。

2月に公表されたスチュワードシップ・コードと対をなして、上場企業の実効的なコーポレートガバナンスが実現されることが期待されています。

■【ビジネス・アイ】

コーポレートガバナンス・コード！

社長 「新聞を読んでいたら上場企業は、社外取締役を2名以上にしないといけないみたいだね」

花野 「そうですね、3月に公表されたコーポレートガバナンス・コード原案で明記されましたね」

社長 「ガバナンスということだから、最近の企業不祥事が原因でそうなったの？」

花野 「そういう側面もありますが、主眼は諸外国の証券取引所上場企業に比べて、東京証券取引所に上場している企業のROE（株主資本利益率）が低いことが原因です」

社長 「そうなんだ！」

花野 「リスクを回避して内部留保をため込む傾向のある日本企業に対して、慎重な姿勢を打破して国際競争力を高めるように、政府が主導して定められたんですよ」

社長 「そうすると社外取締役の役割は、どうなるの？」

花野 「社外取締役に求められるのは、株主の立場に立って、企業により積極的な行動を促すことになります」

社長 「でも上場会社って結構な数があったよね。社外取締役を二人ずつといても結構な数になるよね。すぐには適任者が見つからないかもしれないよね」

花野 「その場合は、Comply or Explain（同意せよ、さもなければ説明せよ）の原則に基づいて、その理由を説明することになります」

社長 「上場会社は、何事も“説明”が求められるね」

■【今月の1冊】

『まんがでわかるセブンイレブンの16歳からの経営学』

迫ミサキ 画 ギョウイブツゾウパツ 監修
宝島社 ¥1000

景気の良し悪しにかかわらず、業績を確実に伸ばし続けているセブン・イレブン・グループの秘密の一端を垣間見ることができます。

アルバイトに如何に経営意識を植え付けるか。その経営手法は科学的でもあります。セブン・イレブンの経営のエッセンスを、マンガで誰でも分かりやすく理解できます。管理者にお勧めです。



■【編集後記】

前から欲しかった時計(CASIO OCEANUS)を衝動買いしてしまいました。時計にお金を掛ける方ではありませんが、今回の時計は、清水の舞台から飛び降りる気持ちで買いました。これで10年ぐらいは、新しい時計は買わないと思います（笑）

『経営のセカンド・オピニオン』vol. 98（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2015.5.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>